

令和元年度 第3回清里区地域協議会次第

日 時：令和元年5月27日(月)

午後3時から

場 所：清里区総合事務所3階

第3会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 所長あいさつ

4 協 議

(1) 令和元年度地域活動支援事業の審査について・・・資料1-1、1-2

・採点結果について

・採択審査

(2) 自主的審議事項の検討課題について・・・・・・資料2

・検討課題

5 その他

(1) 令和元年度第4回清里区地域協議会の開催(案)について

・日 時：令和元年6月24日(月) 午後3時から

・会 場：清里区総合事務所 第3会議室

(2) 4区地域協議会委員合同研修会について・・・・・・資料3

・日 時：令和元年6月29日(土) 午後3時30分から

・会 場：割烹「新柳」(上越市牧区落田223)

6 報 告

(1) 交通政策課報告事項

・次期上越市総合公共交通計画について・・・・資料4-1、4-2、4-3

・清里区内のバス路線再編案について・・・・資料4-4、4-5

7 閉 会

○ 採点結果一覧表

事業 番号	事業名	事業主体	提案事業		基本審査・採択方針審査結果				共通審査基準審査結果			判定	順位	評点に応じて 減額する額	補助金 決定額
			事業費	補助金 希望額	判定	審査項目	○	×	審査項目	総得点	平均点				
4	清里区坊ヶ池交流施設活用事業	きよさと観光交流協会	850,690	800,000	○	1.基本 審査	12	0	①公益性	53	4.41	採択	1	0	800,000
					○	2.清里区 採択方針	12	0	②必要性	53	4.41				
					○	基本審査・採択方針 審査結果		③実現性	53	4.41	④参加性				
7	すこやかなくらし サポート事業	NPO法人清里まちづくり 振興会	622,000	620,000	○	1.基本 審査	12	0	①公益性	51	4.25	採択	2	0	620,000
					○	2.清里区 採択方針	12	0	②必要性	54	4.50				
					○	基本審査・採択方針 審査結果		③実現性	52	4.33	④参加性				
5	きよさと朝市開 催事業	清里商工会	604,743	560,000	○	1.基本 審査	12	0	①公益性	53	4.41	採択	3	0	560,000
					○	2.清里区 採択方針	12	0	②必要性	53	4.41				
					○	基本審査・採択方針 審査結果		③実現性	49	4.08	④参加性				
8	楡池隕石落下 100周年カウン tdown事業	天文指導協力員会	632,609	590,000	○	1.基本 審査	12	0	①公益性	50	4.16	採択	4	0	590,000
					○	2.清里区 採択方針	12	0	②必要性	53	4.41				
					○	基本審査・採択方針 審査結果		③実現性	47	3.91	④参加性				
6	清里歴史50音加 美芝居完結事業	星ふる清里会	526,200	525,000	○	1.基本 審査	12	0	①公益性	51	4.25	採択	5	△11,000	514,000
					○	2.清里区 採択方針	12	0	②必要性	47	3.91				
					○	基本審査・採択方針 審査結果		③実現性	47	3.91	④参加性				
3	大櫛ポケット パーク利用促進 事業	岡野町自治会	1,252,800	1,252,000	○	1.基本 審査	11	0	①公益性	46	4.18	採択	6	△26,000	1,226,000
					○	2.清里区 採択方針	11	0	②必要性	42	3.81				
					○	基本審査・採択方針 審査結果		③実現性	42	3.81	④参加性				
1	梨平のおどりを 未来につなぐ映 像化事業	梨平町内会	687,500	687,000	○	1.基本 審査	11	1	①公益性	45	3.75	採択	7	△28,000	659,000
					○	2.清里区 採択方針	11	1	②必要性	49	4.08				
					○	基本審査・採択方針 審査結果		③実現性	47	3.91	④参加性				
2	白看板城址駐車 場・崖安全性向 上事業	荒牧狼煙を上げる会	1,076,532	1,076,000	○	1.基本 審査	11	1	①公益性	40	3.33	採択	8	評点減額分 △108,000	331,000
					○	2.清里区 採択方針	11	1	②必要性	36	3.00				
					○	基本審査・採択方針 審査結果		③実現性	40	3.33	④参加性				
								合計	187	15.58	合計減額分 △745,000				
合計	清里区配分額 5,300,000	配分残額 -810,000	6,253,074	6,110,000								合計	△810,000	5,300,000	

※ 評点の平均点による補助率の差異

15点未満:不採択、15点:90%、16点:92%、17点:94%、18点:96%、19点:98%、20点以上:100%

【事業番号1】梨平のおどりを未来につなぐ映像化事業

- 無形文化財の「梨平古代詞」は古くからの郷土芸能が伝承されている。伝統ある踊りをずっと引き継ぐためにも、子どもたちに教えていただきたい。清里中学生に出前授業で指導されたらいかがなものか。他にも田んぼの魅力を引き出すために子供たちと交流して田植え、稲刈りなど手伝わせることは大切なことだと思う。梨平集落の方々の頑張りを期待している。
- 梨平古代詞を次世代に継承してください。
- 伝統文化を継承することは重要であり、集落あげての取組に期待する。
- 地域の現状を考えると、今後の発展継続に不安を感じて一過性のものと思われる。終わったら最後と思う。

【事業番号2】白看板城址駐車場・崖安全性向上事業

- 歴史的な山城群にコンクリート舗装は不適當と考える。また、多くの住民参加は期待できるか疑問がある。
- 坊ヶ池湖畔に続く新たな観光スポットになりつつある白看板城址。道路も整備され、誰もが気軽に足を運べる場所で心癒される思いだ。地元の人たちの努力と忍耐により築き上げられた狼煙台、若い人たちに受け継いでいただきたい。
- 駐車スペースの安全面もきっちり整えて事故が起きないように願います。白看板城址が後世に広く伝わっていきますように。
- 札山線からの車の乗り入れ自体、急勾配で危険。事故の心配あり。遊歩道化した方が良いのでは！！
- 現地を見させていただきました。山城は今のままで良いと思いました。むしろ山頂にれんげツツジでも植えた方がいいのでは。
- 他県からの見物人はいないし、本当の必要性がない。
- 保存・継承をこれからも期待して努力してほしい。
- 地域の文化を大切にして、景観づくりをして残してほしいと思う。

【事業番号3】大櫓ポケットパーク利用促進事業

- プレゼンテーションでの説明を聴き、地元の人ならではの説得力と話し方が素晴らしく心にしみた。当時の（昔の）人々の暮らしなど情景が浮かび、一瞬タイムスリップしたようだった。ぜひ看板を作り、説明文にして設置していただきたい。（新年度に向けて）
- 大櫓ポケットパークが地域住民の憩いの場となるとともにより多くの見学者が訪れますように。
- 擁壁工と一部盛土工とし、転圧舗装については来年度仕上げを望む。
- 随分、大金がかかるんだなと思います。
- 観光者の利用度が少ない。
- より多くの人々の寄り所になるように期待する。

【事業番号4】清里区坊ヶ池交流施設活用事業

- 山城ツアーの目的地の一つに上深沢城址を加えていただきたいと思う。町内の方々が一生懸命古道（こどう）を整備されてくださり歩きやすいので、ぜひお願いしたい。ツアーの料金、食事、ガイドなど全て安全、安心のひとことに尽きる。中高年齢層に寄り添うやさしい観光交流協会だと実感した。植木宏先生の講和もお聴きしたい。
- 各種の交流イベントを通じ、清里区の景勝地である坊ヶ池の知名度アップと“ビュー京ヶ岳”の存続に取組まれておられることに感謝です。
- ビュー京ヶ岳の継続のため、あらゆる努力を期待する。
- イベントの開催も必要だが、ビュー京ヶ岳の利用度を上げてほしい。
- 多くの人々を集めるのは大変だと思う。一定の固定客が確保できているようである。

【事業番号5】きよさと朝市開催事業

- 毎月のチラシ作成は検討してほしい。飲食品のサービスは？
- 人々が集い、笑い、話し合う場として大切な場所だと思う。ちょっとした買い物ができとても良いことだと思う。一方、一人暮らしで買い物に不便をとまなう高齢者に寄り添っていただける商工会を望む。
- きよさと朝市で区に活性化を！！各種イベントに期待します。
- 区民のよりどころの場として大いに発展することを望む。営利追求も否めないことから注意！！各種イベント要望する。
- 買い物弱者のために活動することは非常に良いことだ。今後は更なる発展を期待する。

【事業番号6】清里歴史50音加美芝居完結事業

- 地道にコツコツと清里の歴史を住民の方々に伝え続けようとするグループであり、いきなり寄付したらどうかとの声があったが無理しないでいただきたい。ボランティアの集まりなのでそこまでしないでいいと思う。
- 清里区の歴史が加美芝居を通じて後世にまで引き継がれることは、貴重なことだったと思います。
- 子どもたちのみならず清里区民に改めて清里の良さを知ってもらうため、大切なことと思う。
- 活動分野を広くアピールしてほしい。
- 各方面より公演依頼があり、活動されていることに今後も続けてほしい。

【事業番号7】すこやかなくらしサポート事業

- 高齢者にとっての生きがいを脈々と実践し、いろんな催しを繰り広げてくださるまちづくりさんに感謝申し上げます。
- 高齢者が明るく元気に暮らせるために大切な支援に向けた取組だと思います。
- 高齢者の参加する機会を大いに増やしてもらいたい。
- 参加者が利用できるよう考えてほしい。
- 参加する方は固定されているのかなと感じる。

【事業番号8】櫛池隕石落下100周年カウントダウン事業

- 参加費で対応できる物もある。
- 星のふるさと館、ビュー京ヶ岳、共に14億円かけて建てられた大切な施設である。互いに連携して運営していただきたい。共に、職員の方々の熱意と行動力には頭の下がる思いである。ありがとう。
- 子供たちに夢や希望を与える“星のふるさと館”清里にあり。清里の知名度向上、地域の活性化に期待します。
- 京ヶ岳との連携を！！ややマンネリの感がある。
- 100周年は大切だと思う。しかしどう実現していけるのか。

自主的審議事項「中山間地域の振興」について

【具体的課題】

項目	提案理由	提案者	
1 公共交通について	(1) 交通弱者対策の検討	車を持たない人は、通院・買物等のためにバス等の公共交通を利用することになるが、「自宅からバス停まで行くのが困難」バス停までたどり着いたとしても「現行のバスでは段差があり、昇降が困難」等の問題が予想される。	桑原正史
		冬期間の高齢者世帯や障害者の交通手段が問題。 以前、各集落に小型除雪機が配備されていたが、人口減少、高齢化が進み現状では、ほとんど活用されていないのではないかと思う。(特に除雪路線まで距離が長い世帯)	羽深 正
		農山村にとって車は必需品であり、仕事をするにしても車は欠かせない。しかしながら、無理な運転をして事故を起こせばそれこそ大変である。運転免許の返納をすれば今までの生活が一変してしまい、バスを利用するにしても便数が少なく運賃も高い。農業を核として生活している我々住民にとっては頭の痛い問題である。 バス会社は赤字続きの経営状況との事であるが、一人でも多くの利用者を増やすことが先決だと思う。平成21年4月に地域協議会が青柳までバス利用したことがあり、実践運動の一つとして実行した経緯がある。	向橋マチ子
		高齢者の増加と共に運転免許証の返納などで通院、買い物等、移動手段が少なくなって来るなかで、公共交通機関の対策を急がねばならないと思う。	涌井博道
	(2) 買物支援の検討	商店の減少、高齢者世帯、一人暮らし世帯の増加により、買い物に行けない人達の支援、対策を移動販売車等の検討を。	古澤文夫
		買物弱者への支援対策が必要。地域内で買い物ができれば一番ベストだと思う。(例を挙げると商工会で開催される週一の「朝市」に希望者を誘う。)	丸山弘子
		前回提案いただいた地域の商店の減少、体力の衰えからくる交通手段。高齢者1人暮らし世帯の増加による買物事情の不安を少しでも無くしてあげたい。 月1回位のスーパーへの買物ツアー 足腰の弱った方には御用聞き制度導入	三原田裕子
		バローまでバスが行けるようになり良かったと思う。バスの運転手さんはとても親切で、お年寄りの方々から喜びの声を聞いている。山間部の停留所から離れた奥の方にお住まいの方々にとっては大変辛い思いをしておられるので、移動スーパーの様な物があればいいのと思う。街まで買い物に出られない足腰不自由なの方々にとって便利な方法だと思う。	向橋マチ子

2 集落運営について	(1) 集落機能の検討	どこの町内会も高齢化による役員になり手が無い状態である。公職の簡素化が必要でないか。	島田敏雄
		私の町内でもこの3月末をもって老人会が休会となった。原因は、人数減少ではなく役員になり手不足である。これに端を発し、集落行事の維持や住民間の意思疎通が薄くなっていくのではないかと危惧している。	丸山弘子
		菅原地区と楡池地区において多少の温度差があると思うが、少子高齢化により青年層が激減し、集落構成員の高齢化で普請や用水路の草刈作業員の人選確保に苦慮している。町内では数年で限界集落(65歳以上が50%以上)に成りそうである。 地域活動に協力できる市民ボランティアを募り交流を図ることで活性化に繋がる。	山川正平
3 空き家、空き地対策について	(1) 空き家、空き地対策	現在かなりの空き家があると思われるが、地域おこし協力隊の皆さんと都会から田舎暮らしに興味の有る人々を迎え入れる事が出来ないか、あるいは楡池振興会との協力も必要ではないか。	上原澄雄
		すでに戸建ての4軒に1軒、約800万戸が空き家となっており、15年後には3戸に1戸が空き家になるといわれている。清里区の新興住宅地でも空き家が出始めており、「空き家の実態把握」と「空き家の利活用」の取り組みが必要であると思われる。	桑原正史
		集落内には空き家、空き地が数か所有、維持管理の行き届かない空き地が集落の景観を乱している。 畑地では耕作放棄地が点在しており農作物が野生動物の被害を受けている。田舎暮らし・田舎体験を希望する都会人や街場の人々が訪れ、中長期滞在できる農園付き施設等に整備し地域の活性化を図る必要がある。 妙高市の大洞原(開拓地)に戸建のクラインガルテンがあり都会人の田舎暮らしに人気が集まっている。	山川正平
4 地域の活性化について	(1) 観光振興の検討	清里の観光と言えば、坊ヶ池、星のふるさと館、ビュー一京ヶ岳に景観を良くする為の桜の植樹はどうか。	島田敏雄
	(2) 魅力ある地域づくりの検討	若者、子ども達が増えれば、おのずと地域の活性化につながると思う。 保育園、小学校の賑わい、地域事業の盛り上がり等・・・ 元気な子ども達の声が地域にこだますれば、自然と地域全体の活性化につながる。 前回提案いただいた観光振興、集客事業イコール地域の活性化、魅力ある地域にもつながると思う。	三原田裕子
5 その他	(1) 小・中学校の将来について	少子化により小・中学校の区内での存続について不安を感じている。将来的に区を越えた統合も必要になってくる可能性が有るのだろうか。	上原澄雄

	(2) 婚活支援	若い人の晩婚化に対し、行政としての支援を望む。婚活支援は人口減少、高齢化の一番の原因。	羽深 正
	(3) 消防団組織の見直し	若年者層の減少に伴い、各集落の運営もままならなくなりつつある中で、消防団員の数も少なくなっているため、消防OBの再登録などの検討が必要と思われる。	涌井博道

令和元年 5 月 27 日

清里区地域協議会委員 様

清里区地域協議会
会長 笹川 幹男

地域協議会委員合同研修会の開催について（案内）

日頃から、地域協議会の運営に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、中郷区、板倉区、清里区及び牧区の地域協議会委員による合同研修会の開催について、下記のとおり案内がありました。

つきましては、御多用のことと存じますが、地域協議会委員の皆様から御出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和元年 6 月 29 日（土） 午後 3 時 30 分から
- 2 会 場 割烹「新柳」（上越市牧区落田 223）
- 3 内 容 **① 研修（1 時間）**
テーマ：中山間地域の振興について
講 師：上南地区地域づくり協議会（糸魚川市）
会長 伊藤 幸雄 様
演 題：「資源と人材を活かした地域づくり」
② 質疑応答（10～20 分）
- 4 その他 研修会終了後、午後 5 時から同会場にて情報交換会（会費：5,000 円）を予定していますので、あわせて出席をお願いします。
出欠について、6 月 14 日（金）までに下記担当へ御連絡ください。
研修会は費用弁償の対象となります。
会場と総合事務所の移動（往復）は、バスを用意します。

※ 迎えのバスが清里区総合事務所に 15:00 に来ますので、それまでにお集まりください。研修会だけに出席の委員は、自家用車で参加くださるようお願いいたします。

担 当

上越市清里区総合事務所 総務・地域振興グループ 長澤
〒943-0595 上越市清里区荒牧 18 番地
電話：025-528-3111（内線 225） FAX：025-528-3114

4区（中郷区、板倉区、清里区、牧区）地域協議会委員合同研修会 開催要項

【主催】

中郷区地域協議会、板倉区地域協議会、清里区地域協議会、牧区地域協議会

【目的】

中郷区、板倉区、清里区、牧区の地域協議会委員が一堂に会し、共通のテーマによる研修(有識者などによる講義など)を行うとともに、日頃の活動状況などについて情報を交換することによって委員の資質向上を図ることを目的に開催する。

【日時】

令和元年6月29日(土)

- ・研修会：午後3時30分～
- ・情報交換会：午後5時～

【会場】

- ・研修会：割烹「新柳」（上越市牧区落田223）
- ・情報交換会：研修会と同会場

【研修内容】

① 研修（1時間）

テーマ：中山間地域の振興

講師：上南地区地域づくり協議会（糸魚川市）

会長 伊藤 幸雄 様

演題：「資源と人材を活かした地域づくり」

② 質疑応答（10～20分）

③ 情報交換会（1.5～2時間）

【出席者】

- | | | |
|----------------------|-----|------------------|
| ・中郷区地域協議会（高橋達也会長） | 12人 | |
| ・板倉区地域協議会（平井達夫会長） | 14人 | |
| ・清里区地域協議会（笹川幹男会長） | 12人 | |
| ・牧区地域協議会（丸山進会長） | 12人 | <u>委員合計50人</u> |
| ・各区事務局（各区所長、事務局2名程度） | | <u>職員合計8～10人</u> |
| | | <u>出席者 最大60人</u> |

【送迎】

- ・行き：清里区総合事務所出発（午後3時00分）⇒ 牧区割烹「新柳」
- ・帰り：牧区割烹「新柳」出発（午後7時00分頃）⇒ 清里区総合事務所

次期総合公共交通計画の検討状況と再編の方向性について

1 現状調査の状況

(1) 実施状況

・計画の検討に当たり、住民の移動の実態や課題を把握するため、下記の調査を実施した。

項目	時期	目的	実施方法	実施人数
①公共交通に関するアンケート	H30年3月	市民の移動実態、公共交通に対する関心度、意見等を把握	市民6,228人にアンケートを郵送(回収率44.1%)	2,745人
②路線バス乗降調査	H30年6～7月	市内の路線バスの利用状況を把握	調査員がバスに乗り、利用者に聞き取り	5,932人
③高校生アンケート	H31年1月	高校生の通学利用のニーズ、課題を把握	高校1,2年生3,903人にアンケートを配付(回収率91.1%)	3,557人
④聞き取り調査	H30年4月～H31年2月	高齢者等の移動の実態・課題、公共交通に対する意見の把握により、再編の方向性の検討材料を収集	町内会長を訪問し聞き取り	661人
			民生委員を訪問し聞き取り	226人
			サロン参加者に聞き取り	680人
			住民を個別に訪問し聞き取り	524人
			電話等で聞き取り	282人
合計	—	—	—	15,081人

(4)聞き取り調査の項目別、区・地域別の内訳

No.	項目	安塚区	浦川原区	大島区	牧区	柿崎区	大潟区	頸城区	吉川区
1	町内会長への聞き取り(集落カルテ調査等)	17人	34人	24人	39人	57人	22人	55人	50人
2	民生委員への聞き取り	11人	戸別訪問等を行うため実施せず	7人	10人	3人	18人	18人	14人
3	サロンでの聞き取り	80人	80人	12人	39人	14人	151人	58人	30人
4	戸別訪問	30人	137人	3人	56人	(住民懇談会実施予定)	他の調査で傾向がつかめたため実施せず H31の合意形成時に聞き取りを実施		
5	免許返納者への聞き取り	7人	10人	1人	3人	27人	58人	1人	11人
6	その他	病院利用者、バス利用者 105人	出張何でも懇談会 52人	高齢者合唱団 20人	地区懇談会 128人	地域協と住民との懇談会(予定) 77人	—	地区振興会役員 11人	—

No.	項目	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区	合併前	小計	合計
1	町内会長への聞き取り(集落カルテ調査等)	24人	50人	25人	46人	35人	183人	661人	2,847人
2	民生委員への聞き取り	戸別訪問等を行うため実施せず	20人	8人	戸別訪問等を行うため実施せず	戸別訪問等を行うため実施せず	117人	226人	
3	サロンでの聞き取り	59人	他の調査で傾向がつかめたため実施せず	133人	8人	96人	戸別訪問等を行うため実施せず	680人	
4	戸別訪問	55人	55人	35人	88人	58人	62人	524人	
5	免許返納者への聞き取り	0人	28人	10人	12人	0人	114人	282人	
6	その他	ひばり荘利用者 18人	板倉中PTA役員 12人	老連、まちづくり団体 20人	病院利用者、老連役員 31人	健康づくり集会、福祉フェスタ 77人	—	474人	

(2) 調査結果の概要

①公共交通に関するアンケート (H30年3月)

■結果概要

- ・市民の約9割が公共交通を「重要」と認識
- ・70歳以上の高齢者は、約8割は自家用車により移動、公共交通(鉄道、バス、タクシー)は10.9%
- ・免許のない人は、家族等による送迎と公共交通による移動がほぼ半々
- ・便数、ダイヤ、乗換負担、ルート、運賃等の満足度が低い一方、バス停までの距離は満足度が高い

■計画への反映

- ・調査結果から読み取れる住民のニーズについて、聞き取り調査の結果とあわせ、検討の参考とする。

②路線バス乗降調査 (H30年6～7月)

■結果概要

- ・バスの利用者は、学生(小中高大)が41.4%で最多、次いで一般が27.6%、高齢者は26.4%
- ・利用の傾向(利用時間帯・区間・目的等の偏り)に応じて路線を分類
- ・バスの運行に対して意見・要望のある利用者は全体の1.4%(路線や企画切符の維持を希望する意見が41.1%、乗換の利便性向上が9.2%)

■計画への反映

- ・路線の利用の傾向を踏まえ、各地域の再編案を検討する。(利用の少ない時間帯のダイヤ見直し・減便、主な利用目的を踏まえた路線の改善等)

③高校生アンケート (H30年1月)

■結果概要

- ・公共交通により通学する生徒(冬期)は、鉄道は1,732人(48.7%)、バスは379人(10.7%)
- ・バスの運行が改善すれば利用する(継続を含む)とした生徒は768人(21.6%)
- ・バスについての改善の意見が366件あり、内容は本数・ダイヤが37.0%、運賃が14.9%

■計画への反映

- ・高校生の通学の利便性の向上の観点から、各地域の再編案を検討する。
- ・ダイヤ改正についての意見は、H31年3月のダイヤ改正に反映した。

④聞き取り調査 (H30年4月～H31年2月)

■結果概要

- ・サロンや各種集会の参加者や戸別訪問により、高齢者等の移動実態を聞き取ったほか、町内会長や民生委員から、町内の住民の移動実態について聞き取りを行った。
- ・運転免許を持たない人は、家族や近所の人の送迎により買い物や通院の用を足しているため、バスを利用しないという意見が多かった。
- ・一方、バス停までの距離、ダイヤ、ルートといった公共交通に対する意見・要望が寄せられた。

■計画への反映

- ・調査で把握した高齢者、運転免許を持たない人などの意見、ニーズを踏まえ、各地域の再編案を検討する。

2 路線バスの再編の基本的な考え方

(1) 基本方針

計画期間はR2年度からR9年度までの8年間とし、市民の移動手段を確保するとともに、効率性を向上することで、持続可能な公共交通ネットワークを構築する。

①市民の移動手段の確保

- ・調査で把握したニーズを踏まえ、地域住民とともに、「乗ってもらえる公共交通」のための見直しを行うことで、市民にとって利便性の高い移動手段を確保する。
- ・公共交通の導入を行わない地域や路線を廃止する地域においては、互助による輸送への支援やタクシー券の配布等により、自助、互助による市民の移動手段を確保する。

② 効率性の向上

- ・効率性の向上により、最少の経費で最大の効果を挙げる公共交通とする。
- ・「乗らなければバスがなくなる」という現状を地域住民と共有し、路線の利用状況を踏まえ、一定の基準を下回る路線については、より効率的な運行形態への転換、さらには路線バスの廃止、互助による移送サービスへの転換を含めた見直しを検討する。

(2) 再編の基本的な考え方

① 公共交通ネットワークの整理と路線の役割分担 (P4 参照)

- ・路線を主要幹線、幹線、支線に区分し、役割を踏まえた利便性の向上、効率化を行う。
- ・駅から総合事務所を経由し、中山間地までを結ぶ路線は、幹線と支線に分割する。(宮口線等)

	主要幹線	幹線	支線
基本区間	上越妙高駅～直江津駅	駅～病院～区総合事務所	区総合事務所～集落
役割	市の中心地の駅・病院等の拠点間の移動と、市街地の生活交通を確保	13区・郊外の拠点から、市の中心地・駅へのアクセスを確保	集落から、日常生活に必要な機能がある拠点へのアクセスを確保
再編の考え方	・増便、ダイヤの改善等による利便性向上	・サービス水準を維持し、利便性を向上 ・収支悪化路線の効率化	・きめ細かな移動を確保 ・効率化のための再編が基本(運行形態の転換等)

■交通空白地の対応について (バス停から半径300メートル以上、高齢者の歩行速度：約60m/分で5分以上)

現状調査の結果	・聞き取り調査においては、自家用車や家族等による送迎により移動している高齢者が多く、十分な需要を確認できなかった。
基本的な考え方	・地域住民から公共交通の導入等について要望があった場合は、具体的な需要について聞き取りを行い、下記②と同様の指標によって十分な需要が認められることを確認した後、必要に応じて対応を検討する。(対応例) 路線の再編に伴う経路変更、公共交通の新規導入

② 路線ごとの評価に基づく再編の方向性の整理

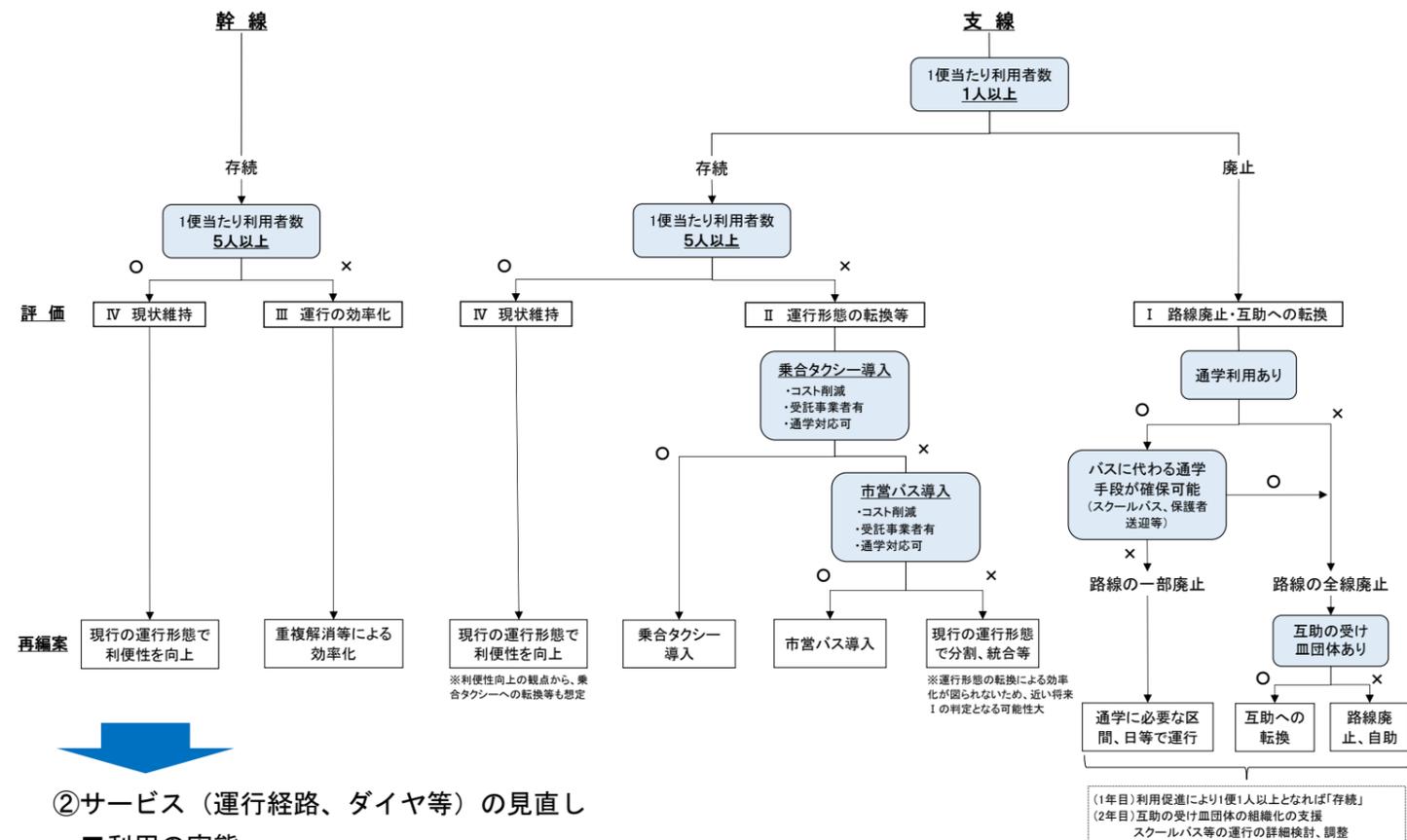
- ・バスの利用状況の視点から各路線を評価し、路線の再編の方向性を整理する。
- ・一定の利用がある路線は、地域住民のニーズを踏まえ、ルート、ダイヤ、本数等の改善を検討し、利便性の向上を図る。
- ・利用の少ない路線は、路線の重複解消、減便や、乗合タクシー、市営バス等への転換のほか、路線バスの廃止、「互助」による移送サービスへの転換を検討する。

3 スケジュール

		市全体の検討
R1年	5月～9月	・地域協議会、地区公共交通懇話会、地区懇談会等への説明・意見交換 ・地域住民、バスの利用者との意見交換
	12月	・計画案の作成
R2年	1月	・パブリックコメント
	3月	・計画の策定

■検討フロー(案)

① 路線の存続・運行主体の方向性の検討



② サービス(運行経路、ダイヤ等)の見直し

■利用の実態

- ・路線バスの利用の傾向を踏まえ、路線のサービスの改善・効率化の方向性を整理

利用の傾向	再編の考え方②(サービス改善の方向性)
A 利用時間帯に偏りあり	・利用が多い時間帯の定時便化 ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、利用喚起 ・利用が少ない時間帯の減便
B 利用区間に偏りあり	・利用が多い区間の維持 ・利用が少ない区間のサービス向上、利用喚起 ・利用が少ない区間のルート見直し ・幹線、支線の分割
C 利用がほとんどない	— (2(1)で「I 路線廃止・互助への転換」と評価)
D 時間・区間に問わず利用あり	・更なる利便性の向上
ア 利用目的に偏りあり	・利用の多い目的のための更なる改善 ・利用の少ない目的のためのダイヤ変更、サービス向上
イ 利用目的に偏りなし	・更なる利便性の向上

■地域住民の意見

- ・利用者や地域住民の意見・要望を踏まえ、路線のサービスの改善の方向性を整理
(例：再編の考え方③) 運行経路・ダイヤの見直し、バス停増設



③再編の方向性の検討

- ・上記1、2(1)～(3)の評価・検討プロセスを踏まえ、路線ごとに再編の方向性を整理
※P5「再編の方向性一覧」

再編の方向性一覧【清里区】

資料4-3

路線	区分	1便当たり 利用者数 (H30)	評価区分	再編の方向性(検討中の案)	H30決算(円)				平均乗 車密度	利用者数 (H30)
					収入	支出	収支率	市補助額		
青柳線(幹線)	幹線	3.6	Ⅲ 運行の効率化	・総合事務所までに短縮、減便	8,043,643	37,837,433	21.3%	26,177,000	1.0-1.6	32,796
青柳線(支線)	支線	1.1	Ⅱ 運行形態の転換等	・総合事務所から先を市営バス等へ転換						
三針線	支線	0.6	Ⅰ 路線廃止	・廃止を基本とし、通学利用への対応を検討	290,902	3,076,400	9.5%	2,785,000	0.4	1,497

地域別公共交通の再編の方向性（清里区）

1 各路線の評価

(1) 路線の存続・運行主体の方向性（収支状況）

No.	路線	区分	収支等の状況(路線バスはH30決算見込み、市営バスはH29決算)								再編の考え方①			
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	市補助/利用者1人(円)	1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度	区分	内容
1	青柳線	幹線 支線	37,837	8,044	29,794	21.3%	3,614	26,177	32,796	798	4.7	1.0-1.6	III幹線と支線の分割(幹線) II運行形態の転換(支線)	・幹線の短縮、本数の見直し等による効率化を検討 ・支線は、市営バス等への転換を検討
2	三針線	支線	3,076	291	2,785	9.5%	0	2,785	1,497	1,860	0.6	0.4	I路線廃止	・路線の廃止に該当するが、通学利用があるため、利用のある便を当面維持
合計			40,914	8,335	32,579	20.4%	3,614	28,962	34,293	845	3.6	-		

(2) サービス（運行経路、ダイヤ等）の見直しの視点

■利用の実態

No.	路線	利用の傾向(乗降調査) ※	利用の特徴(乗降調査)	再編の考え方②	
				区分	内容
1	青柳線	A・B-ア	・朝夕は通学利用が主 ・昼は通院、買い物利用が主 ・清里区総合事務所前-赤池は利用少	・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、減便 ・幹線、支線の分割	(幹線) ・利用が少ない高田駅へ向かう下稲塚経由の14時以降の便及び松野木経由の13時台の便のダイヤ変更、減便を検討し、その他の便は通学利用、通院利用等があることから現状維持を検討する。 ・高田駅前から清里区総合事務所を乗換拠点とし、幹線を分割する。 (支線) ・清里区内は清里区総合事務所までの利用が主であるため、清里区総合事務所を乗換拠点とし、赤池までを支線とする。
2	三針線	A-ア	・朝夕は通学利用のみ ・昼の利用は少ない	・利用が多い時間帯の維持 ・利用が少ない時間帯の減便	・通学利用が主であるコミュニティプラザ前へ向かう7、8時台の便及び清里区総合事務所へ向かう17時台の便を当面維持する。その他の便は減便とする。

■地域住民の意見

No.	路線	地域住民の意見		再編の考え方③
		利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査)	
1	青柳線	・医療センター病院経由(3人/218人) ・中央病院経由の増便(2人/218人)	・冬期間の赤池への運行(楡池地区住民6人から要望) ・交通空白地の鷺澤、上中條町内会からバスを通してほしいとの要望(2町内会) ・清里診療所の利用者2人から全便が清里診療所経由の要望(2人とも総合事務所より上からの利用者)	(幹線) ・医療センター病院経由は区内の通院需要が区内や中央病院周辺であるため、対応しない。 ・中央病院経由の増便は現状経路を維持する利用者数に1便当たり約2.2人足りていないため、利用喚起を行う。 (支線) ・市営バス等の導入時に車両を小型化し、冬期間の赤池への運行及び交通空白地への対応を検討する。 ・清里診療所の全便経路は、市営バス等に転換予定の支線部において検討する。
2	三針線	・意見なし(0人/11人)	・意見なし	・意見がないため、①②で対応

2 区全体の状況

■65歳以上の高齢者の移動先

順位	通院目的	買物目的
1位	区内 33.3%	板倉区 36.1%
2位	中央病院周辺 30.6%	中央病院周辺 31.9%
3位	その他合併前 27.8%	イオン・上越病院周辺 11.1%

※パーセンテージは、当該行先を回答した町内会の割合

(参考)地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	清里区楡池地区(清里小学校区)	平日
2	サロン送迎	NPO法人清里まちづくり振興会	清里区内全域	毎週2~3回(平日)
3	保育園通園バス	市	清里区内全域	毎日

■高校生アンケート

ダイヤ	・休日の部活終わりにバスを利用することがあるがちょうどよい便がない。休日の本数を増やしてほしい。(1人)
バス停	・上稲塚と岡野町の間に団地入口のバス停を作ってほしい。(1人)
待合環境	・バス停が寒い。(1人)

■聞き取り調査の状況

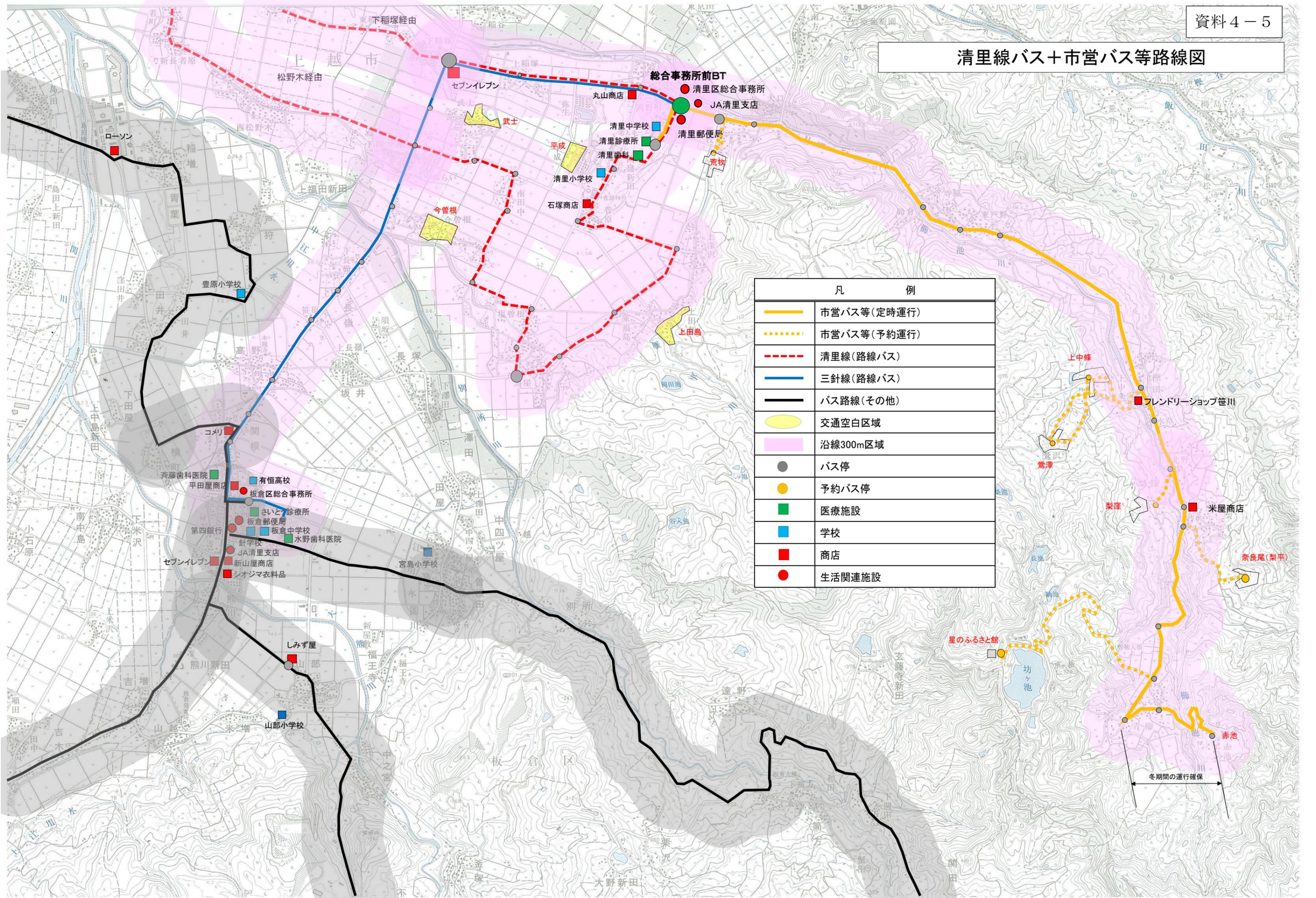
実施内容	実施状況	結果
町内会長への聞き取り	25人	・沿線町内会は現状の路線の維持を希望 ・バスが通っていない町内会からは、車両の小型化による空白地対応の希望
民生委員への聞き取り	8人	・2人が楡池地区はバス停まで遠く、不便だと意見
サロンでの聞き取り	133人	・133人中9割が自家用車、1割がバスを利用 ・赤池のバス利用者から車両を小型化し冬期間もバスを通してほしいとの要望あり ・高齢者のバス利用者からは、バスの乗継は乗り降り、接続が不便なので、今までどおり直通運行を希望
免許返納者への聞き取り	10人	・10人中1人がバス利用者であり、9人は送迎で移動 ・バス停から遠い、利用したい時間に便がない
合計	176人	-

3 再編の方向性

No.	路線名	区分	再編の方向性
1	青柳線	幹線	・高田駅-清里区総合事務所までの短縮を検討 ・利用の少ない時間帯の便の減便、その他の通学、通院等の利用がある便は現状維持を検討し、効率性を向上
		支線	・清里区総合事務所を乗換拠点とし、市営バス等の導入を検討し効率性を向上 ・車両を小型化し、交通空白地へ対応 ・清里診療所への全便乗り入れを検討 ・現在バスを利用して通学する中学生のためのスクールバス運行を検討(小学生のスクールバスに同乗)
2	三針線	支線	・通学利用のある朝、夕の便の当面の維持、その他利用のない便の減便

※幹線と支線の乗換拠点は清里区総合事務所

清里線バス+市営バス等路線図



凡 例	
	市営バス等(定時運行)
	市営バス等(予約運行)
	清里線(路線バス)
	三針線(路線バス)
	バス路線(その他)
	交通空白区域
	沿線300m区域
	バス停
	予約バス停
	医療施設
	学校
	商店
	生活関連施設

冬季間の運行確保